

氏名	工藤 英美
よみ	くどう ひでみ
英字	Kudo,Hidemi
プロフィール	
職位	現代幼児教育学科 講師
最終学歴	愛知県立大学大学院人間発達学研究科博士後期課程修了
学位	博士(人間発達学)
所属学会・役職	日本発達心理学会、日本保育学会、心理科学研究会、東海心理学会、日本教育心理学会
専門分野	発達心理学
研究テーマ	幼児期における多義図形認知の発達 —表象発達からのアプローチ—
主な教育・研究及び社会的活動及び業績	<p>【論文・発表】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 韓国における障害児保育の最新動向,工藤英美・金仙玉,日本保育学会,第71回大会発表論文集,p.796,2018年. 2. ASD 幼児の多義図形理解は定型発達児と同じか違うか?,別府哲・工藤英美・加藤義信・成田民子,日本発達心理学会,第29回大会発表論文集, p.589, 2018年. 3. 保育者のインクルーシブ保育に対する認識—保育者の意識調査の傾向より—,工藤英美・金仙玉,愛知県立大学生涯発達研究所,生涯発達研究,10,pp.95-100,2018年. 4. 保育内容「人間関係」指導法に関する一考察—子どもの姿を想像することと受講生の理解度との関連—,工藤英美,瀬木学園,瀬木学園紀要,12,pp.74-78, 2018年. 5. 「改訂5版資料でわかる乳児の保育新時代」乳児保育研究会編著:『コラム3子どもの貧困と保育所の役割』,工藤英美,分担執筆,p.61,ひとなる書房,2018年. 6. 「改訂5版資料でわかる乳児の保育新時代」乳児保育研究会編著:『コラム4地域の人々とともに子どもの育ちを支える』,工藤英美,分担執筆,p.161,ひとなる書房,2018年. 7. 貧困が子どもの発達に及ぼす影響に関する一考察—子どもの人間関係に着目して—, 工藤英美, 瀬木学園, 瀬木学園紀要,11,pp.37-46,2017年. 8. 幼児における多義図形認知の発達:図形の解体と再構成の経験が自発的反転に与える効果, 工藤英美, 日本発達心理学会, 発達心理学研究, 28(2), pp.74-83,2017年. 9. 幼児期における多義図形認知の発達—表象発達からのアプローチ—(博士論文), 工藤英美, 愛知県立大学大学院人間発達学研究科, 2017年. 10. 人間関係に関する場面での学生の意識に関する一考察—幼稚園実習でのエピソード分析から指導計画作成を通して—, 工藤英美, 愛知県立大学生涯発達研究所, 生涯発達研究,9, pp.109-113,2017年. 11. Difficulty reversing ambiguous figures in young autistic children: A comparative study with young typically developing child, Hidemi Kudo, Satoshi Beppu, Yoshinobu Kato, The 31st International Congress of Psychology, 24-29,2016,Yokohama,Japan, International Journal of Psychology,51, Supplement S1, p.416,2016年. 12. 自閉スペクトラム症幼児における多義図形理解, 別府哲・工藤英美・加藤義信, 日本発達心理学会, 第27回大会発表論文集,p.557. 2016年. 13. 幼児はなぜ1つの現実には2つの表象があり得るという理解が困難か—多義図形認知の発達研究—, 工藤英美, 愛知県立大学大学院人間発達学研究科,人間発達学研究,7, pp.79-87,2016年.

14. 幼児の多義図形認知の発達:「図形の連続的变化」による認知の促進効果の検討, 工藤英美, 愛知県立大学大学院人間発達学研究科,人間発達学研究, 6, pp.41-49,2015 年.
15. 発達障害をもつ子どもの乳幼児期から思春期までの縦断的变化:母親の子育て困難・不安・支援ニーズを中心に, 山本理絵・工藤英美・神田直子, 愛知県立大学大学院人間発達学研究科,人間発達学研究,6,pp.99-110, 2015 年.
16. 「行かないで[ここ]にとどまって見る」静観的認識と共同注意の発達 —生後7ヶ月～13ヶ月における静観的認識場面の検討—, 工藤英美, 日本保育学会, 第67回大会発表論文集,p.709, 2014 年.
17. 幼児における多義図形理解の発達 2—モーフィング機能を用いた図形提示による心的状態の意識化の困難性の検証—, 工藤英美・加藤義信, 日本発達心理学会, 第25回大会発表論文集,p.211, 2014 年.
18. 父親と母親の育児の共同化の実態と課題—全国調査(保育・子育て3万人調査)の経年比較より—, 工藤英美・山本理絵・望月彰, 愛知県立大学大学院人間発達学研究科,人間発達学研究,4, pp.9-24, 2013 年.
19. 子育て中の父親・母親が保育園・幼稚園に望んでいること—全国調査の経年比較より—, 望月彰・山本理絵・工藤英美, 愛知県立大学大学院人間発達学研究科,人間発達学研究,4, pp.47-64, 2013 年.
20. 幼児における多義図形理解の発達-外的世界の二重性と心的世界の二重性の分化の必要性-, 工藤英美・加藤義信, 日本発達心理学会, 第24回大会発表論文集,p.143, 2013 年.
21. 幼児は同じ対象を二重にみるのがなぜ困難か?(続)反転多義図形を用いた検討, 工藤英美・加藤義信, 日本発達心理学会, 第23回大会発表論文集,p.158, 2012 年.
22. 「反転多義図形認知の発達」に関する最近の研究動向, 工藤英美, 愛知県立大学大学院人間発達学研究科,人間発達学研究,3, pp.9-19, 2012 年.
23. 幼児は同じ対象を二重にみるのがなぜ困難か?—反転多義図形を用いた検討—, 工藤英美・加藤義信, 日本発達心理学会, 第22回大会発表論文集,p.420, 2011 年.
24. 幼児期における表象の二重化に関する発達研究—多義図形を用いて—(修士論文), 工藤英美, 愛知県立大学大学院人間発達学研究科, 2011 年.
25. 写真の表象性理解の発達—映写メカニズムに接する機会が与えられた場合の効果—, 工藤英美・加藤義信, 愛知県立大学大学院人間発達学研究科,人間発達学研究,1,pp.13-18, 2010 年.

【社会活動】

平成 29 年 7 月 キッズプラスの会(ボランティア活動)(現在に至る)

平成 29 年 5 月 みずほ「若い失語症者のつどい」(ボランティア活動)(現在に至る)

平成 29 年 4 月 愛知県立大学生涯発達研究所研究協力員(平成 30 年 3 月迄)

平成 26 年 4 月 愛知県立大学大学院人間発達学研究科客員共同研究員(平成 29 年 3 月迄)